

# 大井九条の会

大井九条の会  
事務局連絡先  
83-2358 二上

## 3月15日の定例会では

学習では、報道特集「続くイラン攻撃・女児ら75人死亡の小学校爆撃は米軍の誤爆か」の一部を視聴の後、伊藤千尋さんのフェースブック、毎日新聞の原発帰問題学習しました。長崎市に九条の碑が市として建立されたこと。原発帰りがいかに経済的にも安全面、環境面でも問題があるか等、学習しました。また前述の報道特集録画視聴では、同志社大・三牧聖子教授は、米国とイスラエルの軍事行動には国際法上問題があり、国民もこうした違法な軍事行動に協力したくないという世

3月の会報記事を依頼されて、どんな文にしようか考えていたところ偶然にも夜な夜な「THE DAYS」を鑑賞している夫を発見し、3・11東日本大震災のことを振り返ろうと思いました。皆さまは15年前の3月11日14時46分頃はこのように過ごされて

## 身近な気づき

私は車掌になりまだ一年弱の頃で熱海発の上り列車を担当していました。地震発生時は根府川駅のホームに進入している最中で、電車の揺れにより到着するまで気が付かずドアを開扉してから列車無線が騒ぎ出し、乗客から地震が起きていと伝えられてこの重大さに気づいたことを覚えています。たまたま一緒に乗務をしていたベテランの男性車掌から「今日は動かないと思った方がいいよ。」とサラツと言われて正直なところ経験値の浅い私は半信半疑でした。できる限りの案内と車内の温度を保つための処置などはしましたが、全ての電車が止まっていたので時間の経過と共に道路も渋滞し移動手段が断たれてしまい発生から約5時間後に避難場所に指定されていた小学校への避難誘導が決まりました。下り列車も停車をしていたので人数の記憶が薄れていますが多くお客さまに陽が落ちてからご移動をお願いした記憶

日本国憲法 第二章 戦争の放棄  
第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
第二項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

論も背負って(欧米の)首脳の状態もだんだん変わってきていること。ここまで明確な先制攻撃に関して何も法的評価をしなければ、なし崩し的に米国の問題がある軍事行動に巻き込まれていくのではないか。訪米前に日本として今回の軍事行動をどういう風に考えているのか、世界に対して法の支配を謳ってきた国と

があります。その時、お若い女性の方が泣いているとお客さまから言葉、寄り添うことしかできず不甲斐なく感じました。

今振り返るとこの震災後も熊本地震がありコロナ禍では福島県沖地震が発生し、そして2024年元旦の能登半島地震と地震大国と呼ばれている国で生活するには日頃からの備えや訓練は欠かすことができません。ただ3・11の地震以降、地震が発生するごとに震源地付近の原子力発電所の運転に異常が見られるかどうかの情報の発信も必須となり、かなり重要な心配事が増えてしまったと危惧しています。

冒頭の「THE DAYS」とはNetflixで福島第一原発所の事故を再現している連続ドラマです。現場第一線で指揮をとった吉田所長の証言である「吉田調書」などを基に制作されており、私は今更ながらに当時の危機的状況や所長はじめ命をかけて現場で闘い抜いてくださった方々の功労をリアルな映像から痛感し、この方々のおかげがあつて今があるのだということを忘れてはいけな

と深く思いました。このドラマと出会う前には、大井町良い映画を見る会主催の「原発を止めた裁判長」という映画に出会い当時福島第一原発で起こりうる最悪のシナリオを避けることができたのは奇跡と言っても過言ではない条件が揃ったからであつて、それは同時

して明らかにすべきだということ。ーなど、今回の米国とイスラエルの軍事行動についてどうあるべきかの見方の一助となりました。その後、8月の朗読劇の概要について話合いました。

次回定例会4月18日(土)14時  
生涯学習センター第4会議室

に2度目はないと言われているかのような事実があったこと、樋口裁判官の原発運転差し止め判決に至る経緯を知り国はあのような重大な事故が起こってもなお耐震性を軽視して再稼働を推し進める現実があることを知り落胆しました。ただこのような実際に起きたことを知る機会に出会えたことは今後も生きていく上で財産であり後世に伝えていく価値あることだと前向きに捉えています。

我が子は東日本大震災を知りません。我々経験者が未曾有の災害を忘れてはいけな



仕事も然り、安全と命に関わることには絶対守るべきことが必ずあります。だからこそ過去の事故や災害から学んだことがマニユアル化され徹底すべきとされているのです。ですが経費削減やコストダウン、原発で言えばクリーンエンジンというような一見聞こえの良さそうな理由で守るべき絶対から逸れていくことが平和な日常では簡単に起こりうるのです。軌道修正を図るには他人事と思わず考えること、考え続けていくことが必要だと思えます。拙い文ですがお読みいただきありがとうございます。